

## 人気リゾートホテルに学ぶ

# 暮らしの質を上げる リフォームアイデア集

快適な空間や、心地よい時間は、いかに生み出されるのか  
人気リゾートホテルの設計を手掛ける建築家・佐々木達郎氏へのインタビューをヒントに  
暮らしの質をあげる家づくりを実現した12のリフォームアイデアを紹介しよう

取材・構成：文／中城邦子 撮影：ナカサアンドパートナーズ ● ● ● デザイン／ベター・デイズ

## Interview 過ごしたいシーンをデザインし 心安らぐ空間をつくる

地の文化を尊重し、この場所ならどんな時間を過ごしたいのだろうと思いを巡らせます」

実際、佐々木さんが設計した『星野リゾートBEB5軽井沢』は、高原の爽やかな風を感じる広いテラスや、周囲の木立ちと呼応する木の柱など、まさに軽井沢の魅力を体感するデザインが、細部まで行き渡る。

「住宅の場合も同様で、立地の個性やその家族らしさ、こだわりをきちんと取り込んでいるのが重要で、過ごしたい時間やシーンをキーに空間づくりをします。1つの正解があるわけではなく、個別解を探し出すことで、その家にしかない心地よさや快適さがつくれるからです」

例えば、開放的な明るい空間をつくる方法も1つではない。「周囲を住宅に囲まれていても、トップライトから光を取り込み、壁や天井を白くするだけでも光の拡散効果が得られる室内になる。スケルトンの階段で階下へ光を落とすことも可能です。あるいは廊下の高さを押さえてリビングの天井を上げれば、体感として

**星** 野リゾートをはじめ、各地のリゾートホテルを多数手掛ける建築家の佐々木達郎さん。いつも意識しているのは、「旅をデザインしたいということだ」という。訪れた人の記憶に残る、旅の気持ちが高まる体験をいかに提供するかの。

「例えば、インドネシアのバリ島を訪れたらシテイホテルよりも、オープンエアなヴィラに滞在するほうが記憶に残る旅になるでしょう。その場にしかない自然や環境を魅力にすること、その

開放感が生まれる。明と暗、開放感とこもり感など、空間に緩急をつけることで、それぞれの良さを際立たせることができるのです」

リフォームは、今の暮らしに合わせて住まいをチューニングできる点が魅力だが、大前提になるのは安心感だ。「耐震的な不安や断熱性の不具合の解消は、住む人の心地よさにつながります」と強調する。そのうえで、「空間はモノと人、人と人の関係性から生まれます。例えばソファでゴロつと横になったときに見える景色、差し込む光など、そこに広がるシーンから住まいを考える。これからの心地よさに視点を置いてリフォームすることで、さらに暮らしの質をあげることもできるはずですよ」

### 建築家 佐々木達郎さん

千葉工業大学工業修士課程修了。東環境・建築研究所在籍時に星のや軽井沢、星のや東京などを担当。2013年佐々木達郎建築設計事務所設立後も星野リゾートOMO5東京大塚、星野リゾートBEB5軽井沢などで数々の賞を受賞。数多くのリゾートホテルをはじめ、狭小住宅やリフォームなど、さまざまな住宅の設計を手掛ける。



木製サッシや柱などに木を使い、スケールや見せ方を変えながら土地の個性と共鳴するデザインに



木々に囲まれた環境にふさわしい低層の建物。内部に入ったときの開放感をより鮮烈に感じさせる

ウッドデッキの中庭を囲むラウンジ。ゆったりとした空間と大開口の窓が自然との一体感を生む



佐々木さんが設計した星野リゾートBEB5軽井沢。ラウンジには気ままに過ごせるベッドソファも